

9/12

水週間ぬり絵 コンクール

市立美和保育所年中組の鈴木美優^{みゆう}さんが、2018水週間ぬり絵コンクール（主催：自治労公営企業評議会）で、673点の応募作品の中から優秀賞（3点）の1点に選ばれ表彰されました。美優さんは、お絵かきやぬり絵が得意で、今回の受賞をとても喜んでいました。



▲上手にできたね！

10/18

行政相談委員

市で行政相談委員として活動する小室澄江さんが、総務大臣賞表彰を受賞し、三次市長に受賞の報告をしました。

小室さんは、平成13年から現在まで、行政相談委員として地域住民の身近な相談相手となり、行政サービスに関する苦情・相談や行政の仕組み・手続きに関する問い合わせなどの相談を受けてきました。行政相談委員としての長年の活動と、業績が特に顕著で他の模範であると認められ、今回の受賞となりました。



▲おめでとうございます

10/3

美和小学生が稲刈り体験

地域や保護者15人の協力のもと、美和小学校5、6年生の稲刈りが行われました。

美和小学校では、働くことの大切さを実感し児童のキャリア発達を促進することや、地域の皆さんと連携することによって地域への愛着を深めることを目的とし、地域と連携した様々な体験活動が行われています。

その一環として、学校支援地域ボランティアの堀江昭夫さんの田んぼを借りて、田植えから稲刈りまでの生産活動の体験を行っています。

児童は、ぬかるんだ田んぼで、鎌を使って一生懸命に刈り取りました。

手作業で行う稲刈りは重労働で、米作りの大変さを身をもって学ぶことができたようです。

参加した児童の声

稲刈り体験をして、働くことの楽しさを知りました。一緒に作業したり会話したりしてボランティアの人と仲良くなれて、とてもいい体験をしたと思いました。（5年）

私は稲刈り体験をして、稲を育てる大変さを実感し働くことの喜びや苦勞を知ることができました。地域の人ともふれ合えてとても楽しかったです。（6年）



▲慣れない作業に四苦八苦



▲ぬかるむ田んぼで作業を頑張りました

9/27

在宅医療・介護連携 推進事業

おおみやコミュニティセンターで、地域ケア会議を行いました。今年度は「在宅医療と介護連携の推進」をメインテーマに設定し、今回は「退院が決まって在宅生活に戻る際の介護サービスに繋がるまでの課題」についてグループワークを実施しました。医療職、介護職、消防職、民生委員など総勢78人の方々に参加いただき、活発な意見交換が行われました。いただいた意見をもとに本市の政策形成につなげることを目指します。



▲グループワークの様子

10/3

認知症サポーター養成講座

小瀬高校で、今年で3年目となる認知症サポーター養成講座を行いました。1年生59人、教師5人が新たな認知症サポーターになりました。DVDや教材を用いて認知症について学び、認知症の方への望ましい対応方法を考えながら劇を熱心に見ていました。

生徒からは、「祖母が認知症なので、話し方や接し方を工夫しようと思った。」「困っているお年寄りがいたら積極的に助けたい。」と感想が述べられました。

認知症サポーター養成講座は企業、各種団体、小中学校などで行われています。長寿福祉課へお問合せください。



▲全員で記念撮影

10/4~7

ホームステイ受け入れ

本市では、国際化社会に対応できる人材の育成や市民の国際感覚の醸成を図ることを目的として、2年に一度、オーストラリアの学生が市内の中学生宅にホームステイする事業を行っています。今回は、中学生海外派遣研修事業で交流のある学校の生徒29人がホームステイしました。

初日は、市役所を訪問した後、市内の各中学校5校に向かいホストパディと顔合わせをし、給食や授業、部活動を体験しました。また、夕方には、文化センターで書道パフォーマンスを見学した後、歓迎レセプションで軽食を取りながらホストファミリー



▲漉き絵を楽しみました

と交流を図りました。

2日目は漉き絵や草木染めなど日本の文化に触れる体験活動を行いました。そして3日目は、それぞれの家庭で1日自由に過ごしました。受け入れ家庭からは「コミュニケーションをとろうとお互い積極的に会話し、和気あいあいと過ごすことができた」との声がありました。

最終日のお別れセレモニーでは、涙を流す生徒たちの姿も見られ、別れを惜しみながら帰国の途につくオーストラリアの生徒を見送りました。



▲また会おうね！

10/10

地域安全茨城県民大会

第40回地域安全茨城県民大会が、県民文化センターで開催されました。日頃の継続した防犯活動が認められ、次の皆さんが受賞されました。

茨城県防犯協会表彰地域安全功労者

緒川防犯連絡協議会 古澤 進さん

茨城県防犯協会表彰地域安全功労団体

山方防犯連絡協議会 木村 宗之さん

茨城県防犯協会表彰優良防犯連絡員

坂本 芳夫さん(大宮) 木村望東男さん(山方)

片岡 二己さん(緒川) 鯉沼 國夫さん(御前山)



▶左から木村宗之さん、古澤進さん

10月

泉坂下遺跡発掘体験・現地説明会

昨年度国史跡に指定された泉坂下遺跡では、9月から10月に確認調査を実施しました。10月4日には、地元の上野小学校・村田小学校の6年生が発掘体験を行い、土器や石器の破片を見つけて大喜び。中にはメノウの石鏃(矢じり)を見つけた児童もいました。

10月13日(土)には、調査の成果を公開するため現地説明会を実施。50人を超える見学者が集まりました。

泉坂下遺跡は、弥生時代再葬墓遺跡で、昨年度国の重要文化財に指定された人面付壺形土器が出土したことでよく知られています。

今回の調査は、史跡の整備に向け、弥生時代の再葬



▲一生懸命発掘作業をしました

10/13

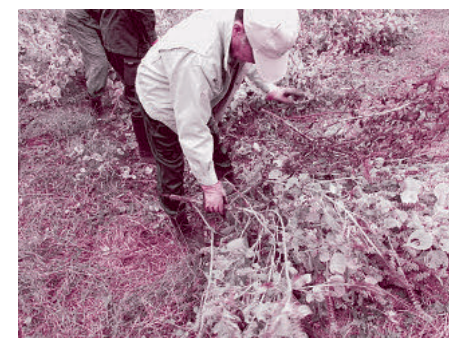
小祝・エゴマの学校

小祝・エゴマの学校の第3回授業が実施されました。今回の授業では、待ちに待った「収穫作業」を行いました。夏の初めに植えたエゴマは、しっかりと成長し、無事に収穫作業を迎えることが出来ました。地元の先生たちの指導のもと、参加者は剪定ばさみでエゴマの根本から刈り取りし、乾燥させるために畑に並べる作業を行いました。

この後は選別や洗浄作業を行い、搾油となります。今年も美味しいエゴマ油が期待できそうです。

■問い合わせ■

道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜 ☎58 - 5038



▲たくさん収穫しました



▲出土した縄文時代の人面付土器の顔部分

10/13

お宝発見

市のお宝発見事業第3回を、28人の参加のもと実施しました。今回は参加者を2グループに分け、午前と午後で内容を入れ替えて活動しました。

本市の伝統産業でもある西ノ内和紙作りを行っている紙のさとで、和紙を使った紙漉きの見学と漉き絵体験を行いました。活動の中で参加者たちはそれぞれが自分の思い描いているものを自由に描いていき、自分だけの作品を作り上げることができました。歴史民俗資料館山方館では、展示品を見ながら市内の民俗資料について学びました。講師から展示品について詳しく説明をいただき、本市が持つ魅力を新たに発見をす



▲どんな漉き絵ができたかな？

るとともに、今回の体験を通して、故郷の伝統に触れ、その知識を深めることができました。

ボランティアの声



茨城大学2年
子どもふれあい隊
赤津 彩里奈

今回のお宝発見では、子どもたちと一緒に歴史民俗資料館見学と漉き絵を体験しました。漉き絵体験では子どもたちが集中し工夫して作業していて感心しました。みんな明るく元気で、一緒に楽しく体験することができました。ありがとうございました。



▲市内にはたくさんの魅力があるね

10/13・14

かわプラザの竹あかり

第3回かわプラザの竹あかりが2日間に渡って開催されました。このまつりは、茨城大学小原ゼミと道の駅常陸大宮と地域の皆さんが協力し、久慈川に広がる竹林を地域資源として生かすことを目的に開催されています。

3回目を迎えた今年は、かぐや姫のテーマのもと、竹灯籠はもちろん、今年初の試みだった竹ツリーや、竹を組んで作るスタードーム、笠間焼のランプシェードなど、たくさんのあかりが灯され、かわプラザの親水広場を美しく彩り、例年よりも輝きが増した竹あかりとなりました。

点灯式前には地元の竹を使った竹細工ワークショップ



▲たくさんの竹に1つ1つ点火していました

プをはじめ、お囃子などが披露され、会場を盛り上げました。また、竹あかりの配置・点灯ボランティアを募集し、来場者の皆さんが作りあげた素敵なイベントとなりました。

今回は、約3,000本の竹を使用しましたが、イベント終了後は、使用した竹を無煙炭化器という道具で燃やし、「竹炭」に再利用することで、地域資源である竹を無駄なく利用することが出来るようになりました。

かわプラザの竹あかりのほかにも、地域から竹林の魅力を伝えるための活動や、竹林を保全する活動が行われています。



▲竹が素敵な雰囲気を演出しました

10/14

一斉クリーン作戦

常陸大宮市道路の一斉クリーン作戦（主催：市環境保全推進協議会）を実施しました。

ごみのない清潔で住みよいまちづくりをめざして、各地区の環境保全推進委員長を中心に地域住民など約9,500人が国道・県道・市道の空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを回収しました。

皆さんのご協力により、可燃ごみ2,470kg、不燃ごみ1,140kg、その他粗大ごみが回収されました。参加された皆さん、ありがとうございました。



▲お疲れ様でした

10/14

ふるさと再発見ハイキング

秋らしい気候の中、シリーズ第10回目となるふるさと再発見ハイキング～高部館・鷲子山編～が開催されました。参加者は山登りを楽しむ傍ら、高部館や鷲子山上神社の歴史に関する説明を受け、知見を広めました。体を動かし爽やかな汗を流しつつ、市の歴史について知識も増える文武両道のハイキングとなりました。

（スポーツ推進委員会事業部会）

今回の企画で感じたことが2つあります。まず、森と地域の調和を考える会の皆さんはじめ、美和地



▲皆さんで記念撮影

10/16

おはなしを邦楽にのせて

邦楽サークル玄音演奏会（主催：市読み聞かせ連絡会、図書情報館）が開催されました。

演奏会は、箏と尺八、三味線が奏でる音楽に合わせて、民話を語る形で披露されました。来場者は、花さき山やダイダラボウ、つるの恩返しなどの民話の語りと邦楽のコラボレーションに魅了されていました。



▲素晴らしい演奏でした

域の方々の地元愛が素晴らしかったことです。

綺麗に整備された高部館、直前に草刈りしたと思われる登山道。高部館は地元愛にあふれる素敵な場所でした。

次に、高部館、鷲子山とも初めて訪れましたが、常陸大宮市にはまだまだ行ったことがない名所旧跡、景勝地が数多くあるということです。ふるさと再発見シリーズは、まさにこのような地元でもなかなか行く機会がない場所を訪れる企画です。第10回を数えますが、今後もふるさとの素晴らしい場所を見つけていこうと思います。



▲力を合わせて登りきりました

10/27 学童保育でハロウィン

学童保育園子コロっコロでハロウィンが開催されました。今年で4回目となり、約700人の親子連れが参加しました。

ハロウィンの飾り一色となった玄関をくぐると、子ども達はフェイスペインティングでモンスターに変身したり、怖いけれど入らずにはいられないお化け屋敷に大絶叫。ハロウィンを満喫した1日となりました。



▲本格的なフェイスペインティングにびっくり！

10/28 御前山ダム自然満喫体験

御前山ダム公園を会場に、県内各地から約150人が参加し、御前山ダム自然満喫体験2018が開催されました。

紅葉には少し早めでしたが、当日は天候にも恵まれ、歩く会を主に、体験コーナーのグラウンドゴルフ、草木染でのバンダナ作り、竹細工、餅つきなど好評でした。同日開催されていた、御前山ダムの一般開放も楽しんでいました。

来春には、ダム公園を利用した歩く会を予定しています。皆さんの参加をお待ちしています。



▲最高のお天気に恵まれました

環境インフォメーション

■ペットボトルの適正排出にご協力ください

資源ごみとして排出するペットボトルは、リサイクル品の品質向上のため、キャップとラベルを取ってください。また、次のようなペットボトルはリサイクルできませんので、燃えるごみとして市の指定袋（緑）に入れて排出してください。

品 目	正しい排出方法
食用油・オイル成分を含むもの（ドレッシング類等）	中身を空にして 可燃ごみの日
香辛料の強いもの（ソース・焼き肉のたれ等）	
非食品用途のもの（洗剤・シャンプー等）	
中身がまだ残っているものや汚れたもの	
ボトルに着色、またはテープ・シール等を貼り付けたもの	



■混合油やエンジンオイルの空き缶等の排出について

混合油等が入っていた空き缶は、収集及び処理工程で火災の原因となりますので、必ず中身を空にして、ふたを外した状態で排出してください。スプレー式容器、カセット式ガスボンベ等のも同様に排出してください。

■問い合わせ■

生活環境課 生活環境G ☎52 - 1111（内線123）

各支所総合窓口 山 方 ☎57 - 2121 美 和 ☎58 - 2111 緒 川 ☎56 - 2111

御前山 ☎55 - 2111

大宮地方環境整備組合環境センター ☎029 - 296 - 1744